

データとAIで“現場が動く”観光地経営モデルの確立

現状及び課題、解決策と目指す姿

- ・ 沖縄やんばる地域は、世界自然遺産をはじめとする豊かな自然環境と多様な観光資源を有し、年間450万人超の旅行者が訪れる観光地である一方、オーバーツーリズムの発生や旅行者の宿泊日数の短さにより地域経済への波及効果が限定的である。
- ・ 旅行者の主要観光地への集中によるオーバーツーリズムや日帰り観光の増加により、宿泊日数や消費額が十分に伸びず、地域経済への波及効果が限定的となっている。また、中小事業者が多く人手不足や専門スキルを持った人材の不足が課題となっている。
- ・ 本事業では、宿泊・観光事業者を対象に、観光DMPとAIを活用したデータ駆動型経営の実装に取り組むことで、事業者の稼ぐ力の向上と顧客満足度の最大化を図り、地域全体の消費拡大と再来訪促進を目指す。
- ・ 本事業での実証をもとに、地域全体へユースケースの共有や横展開、対象事業者の拡大を促進し、持続可能で全国展開可能な観光地マネジメントモデルの確立を目指す。

事業概要

観光DMPとAIを活用したデータ駆動型経営を宿泊・観光事業者へ導入し、観光客動向や消費傾向の分析に基づく商品造成、販促強化、顧客対応の高度化を推進する。これにより事業者の収益力向上と顧客満足度の向上を実現し、滞在日数の延伸、消費拡大、再来訪促進につなげる。

取組地域： 沖縄やんばる

コンソーシアム名： 一般社団法人沖縄やんばるDMO

代表事業者： 一般社団法人沖縄やんばるDMO

実証内容

1. AIレポート配信によるターゲット設定と来訪施策の実施
2. 生成AI(Claude)と観光DMPデータを活用した生産性向上と施策立案、検証
3. 個別施設分析ダッシュボードによる観光客満足度向上

目標値

KGI データ×AI活用のユースケース(ホワイトペーパー作成数)(8件)

KPI AI活用施策実行件数(16件)

沖縄やんばる観光DMP活用モデル(データ駆動型観光地経営の実現)

概要： AIと伴走支援により、仮説検証型の意思決定と施策実行を定着させ、持続的な観光地経営を実現する

